

地域人材ネット

江戸期からの伝統野菜の復活と普及活動

大竹道茂 (おおたけみちしげ)

江戸東京・伝統野菜研究会 代表



○ 登録者情報

所在地

東京都昭島市

略歴

農林水産大臣任命「ボランティア・プランナー」、「農」の機能発揮支援アドバイザー(一財・都市農地活用支援センター)。地産地消コーディネーター(一財・都市農山漁村交流活性化機構)、㈱コープサービス・派遣講師。江戸ソバ工講師。深大寺そば学院講師。一財・東京都農住都市開発支援センター専門講師。ミクニレッスン(三國清三シェフ食育講座)講師、和食アドバイザー検定協会(運営:日本実務能力教育協会)講師、フード・マイルー ジ ディレクター。

著書・論文等

著書・江戸東京野菜の物語(平凡社新書)、江戸東京野菜・物語編(農文協)、論文・江戸東京野菜と地域振興、江戸東京野菜には一つひとつに物語がある。「江戸東京野菜」現代に復活、東京の歴史文化を今に伝える江戸東京野菜とは、江戸東京野菜の掘り起こしと復活にける取り組み、

○江戸期からの伝統野菜の復活と普及活動

取組の内容

江戸東京野菜は江戸期から昭和頃まで、東京で栽培されてきた固定種です。昭和50年代になると一代雑種の交配種が普及したことから、揃いの悪い伝統野菜は流通に乗りづらことから、栽培されなくなりました。復活の取り組みを始めたころは15品種しか見つかりませんでした。復活のきっかけは、都内の神社などに建てた農業説明版で、それを見た市民の町おこしに活用されて、亀戸大根、品川カブなどから始まり、早稲田ミョウガのように早大生と一緒にかつての栽培地を探して旧家の屋敷に生えていたケースもありました。また、本田ウリのように農家が自家用に栽培しているケースもありました。それらを農家に栽培してもらう必要性から、伝統野菜の重要性を説き、消費者や、飲食店に供給する体制も作るために、江戸東京野菜の勉強会を行いました。その一つに江戸東京野菜を広めるため「江戸東京野菜コンシェルジュ」の資格試験も行い。資格取得者のキャリアの中で復活普及を行っていきました。また、江戸東京野菜を次世代に伝えていくために、小学校での食育授業の実施を行い、地元野菜の栽培から始め、給食の食材として活用することも行っています。



足立区立栗原北小学校4年生が栽培した千住ネギの収穫体験



栗原北小学校4年生の千住ネギの調理実習。

実績

江戸東京野菜コンシェルジュは現在160名(2020年度)が、各々のキャリアを生かして取り組んでいるが、小学校等では、品川カブの栽培は区内の小中学校や児童センターなど45組織が取り組むほか、寺島ナスが3校と東向島地区の消費者。千住ネギが足立区の小中学校5校、江東区では亀戸大根が幼稚園、小学校、中学校、JR亀戸駅など10組織、新宿区では内藤トウガラシ、内藤カボチャ、早稲田ミョウガ、鳴子ウリと10数校がさいばいして、学校給食では早稲田ミョウガを27校が食べている。練馬大根は抜くのが大変で、区内の方々にイベント・練馬大根引っこ抜き競技大会で抜いたものを翌日の練馬区の小中学校の給食で使っているが、これも当会が提案したことが続いている。荒川区では三河島菜を給食で食しているが、これは葛飾区にある都立農産高校に栽培を委託したもので、栽培が広がりを見せている。また、私立東京都市大学附属小と私立成蹊小学校でも江戸東京野菜の栽培が行われている。大きな成果としては江戸東京野菜の物語に興味を持ち、嫌いだった「ナス」を食べてみるという気持ちにさせ、食べられるようになったケース。これらは千住ネギでも、焼くことで甘くておいしいことから、すきになったケースも多い。

工夫した点や苦労した点

校長先生が変わることで次の校長先生のお考えもあり、難しい場合もある。また、江戸東京野菜は歴史の話もするので、4年生以上をお願いしている。伝統野菜の栽培の難しさもある

ひとことPR

江戸東京野菜は野菜本来の味がします。交配種のように1年中あり旬がわからない野菜と違って、伝統野菜は季節限定ですから「旬」のわかる野菜です。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

江戸東京野菜通信	http://edoyasai.sblo.jp/

連絡先

メールアドレス	ohtake〔アットマーク〕topaz.plala.or.jp	その他	
---------	---------------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。